

2026年度

上宮高等学校

入学検査問題

国語

- (注意) ① 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- ② 字数の指定がある設問は、句読点やカッコもすべて一字に数えること。
- ③ 問題作成の都合上、本文の表現などを一部変更しています。

受験番号	名前

— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

周囲の人たちの気持ちに配慮し、その期待に応えるというのは、非常に大事なことではあるが、それも行きすぎると、周囲の人たちの意に反することは言えない、できないという同調圧力となり、大きなストレスになる。

群れるのはカッコ悪いとして孤高を気取ったかつての若者たちと違って、今どきの若者はやたら群れる傾向がある。 A、絶えず群れている若者たちも、^① けつしてポジティブな気持ちで群れているわけではないようだ。

人間関係の悩みを抱える学生たちの話を聞いていると、仲間グループの同調圧力を苦痛に思いながらも、そこから抜け出す覚悟ができないもどかしさを強く感じていることがわかる。

「自分を押し殺して、人を笑わせたりしてムードメーカーに徹してるけど、ストレスが溜まる^た」

「こんな窮屈なつきあいはもうイヤだと思って、爆発し^⑥そうになることがある」

「こんなグループつきあいは意味がない、こんなのほんとの友だちじゃない、もっとホンネでつきあえる友だちがほしいと思うのに、仲間グループから抜ける勇気がない」

「^③ その場にいるときは無理に合わせてるから、気持ちが消耗し疲れ切つてしまい、家に帰つて一人になると、こんな不毛なつきあいからはもう抜け出そう、ちよつと距離を置こうって思うんだけど、翌日になるとまたみんなと一緒につるんでる自分がいる」……

無理に合わせるだけ。無理に笑う欺瞞^④。グループの息苦しさを感じる。でも、グループから抜けると孤立してしまい、居場所がなくなる。そう思うと怖くなり、我慢して虚しいつきあいを続けている。このような趣旨のことを口々に言う。

同調圧力によるストレスは、^⑤ けつして最近になってクローズアップされるようになったわけではない。このような声はけつこう前からあったのだが、^② NSの進化により、グループの同調圧力が、一緒にいないときまで強烈に襲いかかってくるようになったことが大きい。

対面でのつきあいが中心の時代なら、いくら学校や職場で仲間グループの同調圧力に苦しめられても、その場を離れば解放された。イヤな人間関係、無

視できない世間の鬱陶しい人づきあいも、その場だけ我慢すればよかったし、時間的にも少し我慢すればよかった。別れば自由になれた。

B、SNSのせいで、今は別れてからもメッセージが入ってくるし、家にいても入ってくる。メッセージを読むと既読がつくから、ソクザに反応しないといけない。逆に、既読がついたからこそこっちのメッセージを読んでいるはずなのに何の返答もないと、怒らせたのでは、気に障ったかな、嫌われたのかも、などと気になって仕方がない。

このように、一緒の場を離れても、通学・通勤途上でも、帰宅後も、どこにいても、どんな時間でも、仲間グループのネットワークから解放されることがなくなった。みんなの目から自由になれない。みんなの目が日常生活のイタる所に遠慮なく侵入してくる。

SNS利用者の多くは、仲間グループのメンバーたちの気持ちを書けないうように気づかったり、こちらのことをどう思っているのだろうと気にかけてり、こちらにどんな反応を期待しているのだろうと相手の意向を読んだりしていなければならぬ。そこでSNS疲れという言葉もよく耳にするようになった。

SNSには、他の人の考えや行動が見えるようになって気になるし、こちらの考えや行動も他人に見えるから気になるというように、両方向からの息苦しさがある。みんながどうしているかが気になる。また、こっちのことをみんながどう思うかが気になる。常にカンシされているような気持ちで、気が休まらないわけだ。

そのように気をつかうばかりで、自由にものを考えることがしにくくなってしまっているのである。

若い頃のことだが、アメリカに行つてはじめてサンドウィッチ店で注文したとき、ツナやハムなどのメインとなる具を指定するだけでなく、玉ねぎやトマトやピクルスなどの野菜を入れるか入れないかまでいちいち指示しないといけないし、パンの切り方も半分に切るとか4つ切りにするとか指示しないといけないのに戸惑った。

前の人たちを見ていてそれがわかり、どうするか考えていたのだが、順番が来ると、いきなりつまずいた。パンの種類も指示しないといけないのだ。どんな種類があるのかわからずアワてるとともに、そこまで自分で決めるのかと驚いた。

今でこそ、アメリカの資本が入ってきており、そうした方式のサンドウィッチチェーン店もあるので、そう驚くべきことではないかもしれないが、当時の日本では、「ツナサンド」とか「ハムサンド」とか言うだけでよかった。あとは「お任せ」になっていた。苦手なパセリが入っていれば、自分でそれを取り除けばよいし、サンドウィッチを注文する際にパンの種類や切り方まで指定することはなかった。

そのとき思ったのは、私たち日本人は相手に「お任せ」する方式に馴染んでいないということだった。^③「お任せ」にしていれば間違いないといった感覚もある。店で注文する際も、自分が決めるのではなく、「オススメは何ですか？」と尋ねて、作り手・売り手に「お任せ」する姿勢を示すのも珍しいことではない。専門家である相手を信頼し、「お任せ」にした方が、よくわからない自分が決めるよりも適切な判断ができると思うからである。「お任せ」にすることで痛い目に遭うことがないため、安心して「お任せ」できるのである。

寿司屋とかでも、「つまみを2人分くらい適当に見繕って盛り合わせにして」などと「お任せ」の注文をする人がいる。ネタによって値段が大きく違ってくるし、そんな注文の仕方をして大丈夫なのかと思うこともあるが、あくどいぼったくり店でない限り、美味しいネタをほどよい料金になるように盛り合わせてくれる。

だが、こうした「お任せ」を海外でやったら、どんな酷い目に遭わされるかわからない。^④盛り合わせひとつで何万円、あるいはそれ以上セイキュウされるかもしれない。^⑤「お任せ」したのだから、いくらになっても文句は言えない。

だれもが自分の身を守るべく自己中心的に動く文化で暮らしている海外の人たちは、けっして「お任せ」の姿勢を取ることはない。そのため自分で考えて判断する姿勢がしっかり身についている。

ところが、日本で暮らしていると、だれもが相手を疑うのは失礼だといった感覚や、相手の期待を裏切りたくないといった感覚をもっており、I のでなく相手の身になって動くため、安心して「お任せ」の姿勢が取れるのである。それが、ともすると思考停止を招くことになる。

(中略)

第二次世界大戦中に、戦後の日本統治のヒントをつかむために、日本人の行動パターンを探るべく日本文化の研究を行い、『菊と刀』という日本人論を著した文化人類学者ベネディクトは、西洋人にとってもっとも驚くべき点は^⑤ 順応と受容が目下の者から湧き出るのであって、目上の者から命じられて順応

したり受容したりするのではない、とみなされていることだという。

ベネディクトによる指摘をここでの文脈に沿って言い換えると、つぎのようなことになるだろう。

欧米社会では、上位者の命令によって、下位の者は仕方なく従ったり受け入れたりする。文句があっても、上位者が権力をちらつかせて有無を言わさぬ

Ⅱ を行使するため、下位の者はやむを得ず

Ⅲ する。

それに対して、日本社会では、上位の者が強制力を発揮して押しつけるようなことをしなくても、下位の者が自ら率先して上位者の意向を汲み取って動くようにする。それが欧米人には理解できない。

新型コロナウイルスの感染爆発による行動規制に際しても、海外では違反したら罰金を科すといった強制力が不可欠であったのに、日本ではそうした強制力なしに国民の自粛に任せて大丈夫だったことは記憶に新しいはずだ。

命じ、罰をちらつかせて押しつけることなしに、なぜ上位者の思うように下位者を動かすことができるのか。命じられ、罰をちらつかされて押しつけられることもないのに、なぜ下位者は上位者の意向を自ら汲み取って動いたりするのか。そこところが欧米人には理解できないのだ。

いずれにしても、そうしたお上に任せておけば大丈夫、

D

お上の意向に従っていればいいという態度は、一種の思考停止でもある。海外では、

政府の方針に納得できないときなど、暴動が起きて大変な騒ぎになるが、日本ではそのような暴動がほとんど起こらない。多くの国民は、理不尽さを感じつつも我慢してしまう。

それを寛大さとか忍耐強さといったポジティブな性質に結びつける見方も成り立つだろうが、それは間違いなく思考停止の徴候と言える。

自分で考えて判断するのは、面倒なのは確かだし、「お任せ」にする方が楽かもしれないが、自分で考え判断するのを放棄してしまったら、まさに思考停止である。

⑨ 欺瞞 … 人の目をごまかし、だますこと。

(榎本博明『思考停止という病理』^{やまい}による)

問一 ——— 線部ア〜クの、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで、それぞれ答えなさい。

問二 ——— 線部a〜hの語の品詞名を、次のア〜コの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア 名詞 イ 動詞 ウ 形容詞 エ 形容動詞 オ 副詞
カ 連体詞 キ 接続詞 ク 感動詞 ケ 助動詞 コ 助詞

問三 ——— A D に入る語句として最も適当なものを、次のア〜オの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア ときに イ ただし ウ あるいは エ ところが オ しかも

問四 ——— 線部a・bの文中での意味として最も適当なものを、次のア〜オの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

(a) 不毛な

ア 楽しいが、長くは続けられない
イ 無秩序で、道徳に反している
ウ 無駄で、得られるものがない
エ 面倒で、やる気が起きない
オ 頭にきて、イライラさせられる

(b) 見繕って

ア ごまかして
イ 選んで整えて
ウ 飾りを付けて
エ 事前に備えて
オ 微調整をして

問五 —— 線部①「けっしてポジティブな気持ちで群れているわけではない」と筆者が考えたのはなぜですか。次の説明の空欄に当てはまる文中の表現を、二十六字で抜き出し、始めと終わりの三字を答えなさい。

筆者は、学生たちが

ことを不安に感じていると分かったから。

問六 —— 線部②「SNSの進化」とありますが、その結果、人々はどうなってしまったと筆者は指摘していますか。次の説明の空欄に当てはまる文中の表現を、十字以内で抜き出して答えなさい。

相手に気をつかい、グループから抜けることや、

ことが難しくなってしまった。

問七 —— 線部③『お任せ』にしていれば間違いない」と思うのはなぜですか。その理由が示されている一文を、文中から抜き出し、始めの五字を答えなさい。

問八 —— 線部④「ない」と同じ使い方をしている「ない」を、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 君と遊んでいる暇はない。

イ 彼がミスするのは仕方がない。

ウ 遠くない将来、それは実現するだろう。

エ 彼女は人の忠告を聞かない。

オ 彼はどこか頼りない。

問九 に当てはまる文中の表現を、八字で抜き出して答えなさい。

問十 —— 線部⑤「順応と受容が目下の者から湧き出る」とありますが、このような日本人の特徴が結果として、どのような状態につながると筆者は指摘していますか。次の説明の空欄に当てはまる内容を、文中の言葉を使って、二十字以内で答えなさい。

下位の者が、上位者の意向を自ら汲み取って動くようとして

という状態につながる。

問十一 Ⅱ · Ⅲ に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア Ⅱ 実行力 ・ Ⅲ 辛抱 イ Ⅱ 決定力 ・ Ⅲ 抵抗 ウ Ⅱ 強制力 ・ Ⅲ 服従

エ Ⅱ 政治力 ・ Ⅲ 従属 オ Ⅱ 軍事力 ・ Ⅲ 敗北

問十二 本文の内容に一致するものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア かつての若者は孤高であることを望む傾向が強かったが、今の若者は力の強い者に従属することにさほど嫌悪感けんおを抱いてはいない。

イ 現代では、学校や職場などでの同調圧力は人々にストレスを与えるが、その場を離れることでストレスを緩和することができる。

ウ SNSはいつでもどこにいても気軽にコミュニケーションをとれる便利な面がある一方で、気が休まることのない状況も生んでいる。

エ アメリカは日常の些細ささいなことも自分で決める社会であるが、専門家の判断を仰がないので思わぬ失敗や損失が生じてしまう。

オ 外国では政府の方針に納得できないときは暴動が起きて大騒ぎとなるが、それは民意を非常に重視する社会だからである。

二 次の1～5の（ ）にそれぞれ漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。また、1～5の四字熟語の意味として最も適当なものを、後のア～オの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

1 試行（ ） 誤

2 一（ ） 半解

3 以心（ ） 心

4 優（ ） 不断

5 言（ ） 道断

ア 教養が十分になく、物事がよく理解できていないこと。

イ 失敗を繰り返しながら、目標の達成に近づいていくこと。

ウ ひどい出来事により、言葉にすることができないこと。

エ 物事がうまく決められず、迷ってばかりいること。

オ 言葉で表さなくとも、互いの気持ちが十分に伝わること。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

③ 大和国に竜門りゅうもんといふ所ところに聖せいありけり。住みける所を名にて竜門の聖とぞいひける。その聖の親しく知りたりける男の、明け暮れ鹿を殺しけるに、注照射と名にとつて

いふ事をしける比くら、いみじう暗かりける夜、照射に出でにけり。
とても

鹿を求め歩く程に、目を合せたりければ、「鹿ありけり」とて押しまはし押しまはしするに、たしかに目を合せたり。矢比やこほにまはし取りて、注火串ほくしに引きか
(鹿と) 目が合ったので 馬を乗り回し乗り回し

けて、矢を上げて射んとて弓ふりたて見るに、この鹿の目の間の、例の鹿の目のあはひよりも近くて目の色も変りたりければ、(a) あやしと思ひて、弓を引きさ
けて つがえて いつもの鹿の目の間隔

してよく見けるに、なほあやしかりければ、① 矢を外して火取りて見るに、「鹿の目にはあらぬなりけり」と見て、注「起きば起きよ」と思ひて、近くまはし寄
せて見れば、身は一定の皮にてあり。「なほ鹿なり」とて、また射んとするに、なほ目のあらざりければ、ただうちのうち寄せて見るに、法師の頭かしらに見な
間違まちがいなく 目の様子が違うので

しつ。② 「こはいかに」と見て、おり走りて火うち吹きて、「ししをり」とて見れば、この聖目打ちたたきて、鹿の皮を引き被かきてそひ臥ふし給へり。
(松明の) 火を吹いて(明るくし)

「こはいかに、かくてはおはしますぞ」といへば、ほろほろと泣きて、わ主わぬしが制する事を聞かず、③ いたくこの鹿を殺す。我鹿に代りて殺されなば、さりともしく
いへり

少しはとどまりなんと思へば、かくて射られんとして居るなり。口惜しう射ざりつとのたまふに、この男臥し転び泣きて、「かくまで思しける事を、あながなんでも少しはやめるだろう」
残念なことに射なかった
強情

ちに侍りける事」とて、そこにて刀を抜きて、弓たち切り、胡籙やなぐひみな折りくだきて髻もじり切りて、やがて聖に具して法師になりて、聖のおはしけるが限り聖にも殺生してしまいました

に使はれて、聖失せ給ひければ、またそこにぞ行ひてゐたりけるとなん。

⑨ 大和国 …… 現在の奈良県。

聖 …… 僧。

照射 …… 夜に火をともし鹿狩りをする事。

火串 …… 火をつけた松明を挟んで地面に立てる木。夏の夜、これに鹿などが近寄るのを待つて射とめる。

起きば起きよ …… ここでは「鹿が気づいて逃げるならそれでもいい」という意。

胡籙 …… 矢を入れて背負うための道具。

髻切りて …… 「髻」は髪を頭上に結び上げて束ねたところ。それを切るとは、出家するという事。

『宇治拾遺物語』による

問一 ——— 線部アウの語句を現代仮名遣いに直して、ひらがなで答えなさい。

問二 ——— 線部(a)ウ(c)の語句の文中での意味として最も適当なものを、次のアオの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

(a) あやしと思ひて

- ア 愉快に感じて
イ 満足を覚えて
ウ 心配になって
エ 不審に思つて
オ 恐怖にとらわれ

(b) のたまふ

- ア 申し上げる
イ 叱りつける
ウ おっしゃる
エ 騒がれる
オ 悔しがる

(c) やがて

- ア そのまま
イ しばらく
ウ 最後には
エ いつしか
オ 無理やり

問三 ——— 線部①「矢を外して火取りて見る」と対照的な行動を、文中から**十六字**で抜き出し、始めと終わりの**三字**を答えなさい。

問四 ——— 線部②「こはいかに」とありますが、そのように思ったのはなぜですか。その理由として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 僧がそこにいるのはわかったが、姿かたちが鹿だったので変だと思ったから。

イ 姿かたちはどこから見ても鹿なのに、突然人間の言葉で話しかけてきたから。

ウ 鹿の姿をしたかと思えば人間の姿に変わったりするので、不気味に思えたから。

エ 近づいて見ると、体はたしかに鹿の毛皮であるが、頭は僧のものに見えたから。

オ 目の色がいつもの鹿のものとは異なっていたうえに、体も鹿の皮ではなかったから。

問五 ——— 線部③「いたくこの鹿を殺す」と同様の内容を表している部分を、文中から**十字**で抜き出して答えなさい。

問六 ——— 線部④「臥し転び泣きて」とありますが、この表現からどのような心情が読み取れますか。その心情として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 後悔 イ 嫌悪 ウ 絶望 エ 激怒 オ 哀惜

問七 この文章には、聖が話す言葉で、一か所「」が抜けているところがあります。その部分の始めと終わりの**三字**を答えなさい。

問八 この文章の説明として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 動物の殺生はやめさせなくてはいけないが、それを言葉で教え諭しても心に届かないと考えた竜門の聖は、わが身を犠牲にしてもそのことを教えたいと考えていた。

イ 動物の殺生も度が過ぎてしまえば、殺した本人にも災いが降りかかることを教えるためには、自分が代わりに殺生をして見せることが必要だと竜門の聖は考えていた。

ウ 竜門の聖は、人間なのか鹿なのか分からない不気味な姿を暗い山中で見せることによって、動物をむやみに殺すことの恐ろしさを男に理解させようと考えた。

エ わが身を犠牲にしてまでも自分を救ってくれようとした竜門の聖の心に感動した男は、鹿を狩る仕事をやめるか、聖の従者となって出家するかを迷った。

オ 鹿と間違えて竜門の聖を矢で射てしまった男は、聖が助かったことに安堵し、鹿を殺して暮らしてきた自分の生涯を顧みて、自分の生き方を変えていった。

問九 この作品は鎌倉時代に成立したとされていますが、鎌倉時代に成立した作品を、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 伊勢物語

イ 古今和歌集

ウ 竹取物語

エ 枕草子

オ 方丈記